

取扱説明書

右記警告サインの意味をご理解の上、取扱説明書をお読みください。

- 警告**

指示に従わない場合は死亡、または重度の障害を負う可能性があります。
- 注意**

指示に従わない場合は軽傷、または他の財物の損傷を引き起こす可能性があります。

生ガス=気化していない白い霧状のガス

■使用上の注意

⚠ 警告

- ① 周囲を確認し、安全を確保してから使用してください。
- ① 換気の十分な場所で、燃えやすいものや熱に弱いものからは十分に離れて使用してください。
- ① 容器(ボンベ)は正しく取り付けてください。取り付けが不十分だとガス漏れの原因となります。
- ① 点火時および使用中は、火口を人体に向けてたり中をのぞきこんだりしないでください。
- ① 火のついた状態で持ち運んだり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ① 火のついたまま容器(ボンベ)を取り外したり放り投げたりしないでください。やけどや事故の恐れがあります。
- ① 使用中および使用直後は火口、火口付近に可燃物を近づけたり手を触れたりしないでください。大変高温のため、やけどの危険があります。消火後もしばらくは熱くなっていますので注意してください。
- ① 使用中および使用後に振り回したりしないでください。本体が外れ、事故ややけどの原因となります。
- ① 落下したり、強い衝撃が加わった際は使用しないでください。ガス漏れや破損の恐れがあります。
- ① ご使用の際は、容器(ボンベ)を必ず手に持ってください。他のものに固定したり、置いたまま使用すると放射熱で容器(ボンベ)が過熱し、非常に危険です。
- ① 炭の火起しの際に火口先端で炭を動かしたりしないでください。ボンベホルダーが回転し、本体が外れる恐れがあり、大変危険です。
- ① 炭に火がついたらすぐに消火し、火元から離れて置いてください。本体樹脂部が加熱されて破損する恐れがあります。
- ① 一人で複数台を手に持ち使用しないでください。やけどや事故の原因となります。
- ① 風の強い時は使用しないでください。
- ① ご使用の際は、火の元に十分注意してください。
- ① ご使用時以外は常にハンドルを閉じ、容器(ボンベ)を取り外してください。ガスが漏れ大変危険です。
- ① お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ① お子様には使用させないでください。
- ① 使用しない場合は必ずボンベから取り外し、箱や袋に入れて保管ください。
- ① 改造や分解をしないでください。
- ① 使用時、使用後は樹脂製バルブカバーやボンベホルダー周辺が熱くなる恐れがあります。やけどに注意してください。
- ① オープンなどの機器に取り付けて使用しないでください。当社が製造・販売するガストーチを、他社が製造・販売する器具や筐体に組み込んだり、固定して使用しないでください。一酸化炭素中毒などの重大事故発生の可能性があり、とても危険です。



- ① 容器(ボンベ)を保管する際は、キャップをつけて火気や直射日光(室内や車内の窓際など)を避けて風通しの良い、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- ① 容器(ボンベ)に強い衝撃を与えないでください。破損しガス漏れの原因となります。
- ① 容器(ボンベ)をファンヒーターの前など熱気のある場所で放置しないでください。熱で容器(ボンベ)の圧力が上がり爆発する危険があります。
- ① 容器(ボンベ)を火の中に投入しないでください。爆発して危険です。
- ① 保管してある容器(ボンベ)は、時々点検をしてください。錆が発生している場合は使用しないでください。
- ① 容器(ボンベ)に異常がある場合は使用を中止してください。



■使用済み容器(ボンベ)の処理に関する注意

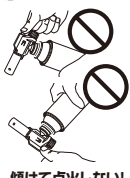
⚠ 警告

- ① 容器(ボンベ)を振ってサラサラ音がかかる場合は、まだガスが残っています。ガスが残っている状態で温度の高い場所に放置したり、火の中に投入すると爆発する危険があります。
- ① 容器(ボンベ)は完全に使いきってから他のゴミと区別して処分してください。各自治体の処理方法に従って処分してください。

■使用時の注意点

⚠ 注意

- ① 使い始めの容器(ボンベ)を使用する時や、35℃以上の高温時には生ガスが出やすくなりますので注意してください。
- ① 点火は容器(ボンベ)を手で固定しながら水平な場所に置き、直立状態で行ってください。本体を傾けた状態で点火すると、生ガスが大きく燃え上がり危険です。
- ① 生ガスが出たときは点火操作を行わないでください。生ガスに点火すると赤い炎が大きく燃え上がり、やけど、火災の危険があります。
- ① 生ガスが出た場合は一度ハンドルを閉じ、ガスが出る量を少量にして生ガスが出ないことを確認してから点火してください。
- ① 5分以上の連続使用はしないでください。故障ややけどの原因になります。
- ① 火口を真下に向けて使用する場合は3分以上の連続使用をしないでください。火口から炎や熱気が本体にかかり、破損する恐れがあります。
- ① 使用時は対象物に近づけすぎないでください。放射熱により本体の破損や点火ケーブルの被覆が破損し、点火できなくなります。
- ① 使用後、火口を水につけないでください。急冷すると点火装置が破損する恐れがあります。
- ① 生ガスが出ている状態で燃焼を続けると樹脂製バルブカバー内に生ガスが流れ込み、引火・やけど・火災の恐れがあり、大変危険です。
- ① 夏季などの気温が高いときはボンベ内部の圧力が上がりガスの出る勢いが強すぎて点火しにくくなります。



■使用容器(ボンベ)の取扱上の注意

⚠ 警告

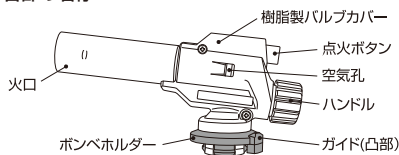
- ① 容器(ボンベ)は新富士バーナー専用、SOTO製品専用の容器(ボンベ)(カセットガスタイプ)を必ず使用してください。RZ-760、GT-760、GT-700、ST-760、ST-760、ST-712、ST-711
- ① 容器(ボンベ)に表記されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

絵表示について
次のような意味があります。

禁止事項 必ず行う事項

■使用方法

各部の名称



＜1＞容器(ボンベ)の取り付け

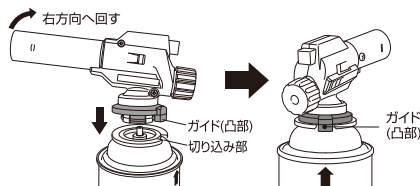
① 容器(ボンベ)が直立状態で取り付け、しっかり固定されていることを確認してください。

② 周囲に火気がないことを確認してください。

1. ハンドルをOFFの方向へ回し、完全に閉じていることを確認します。この時ハンドルを必要以上にきつく締めないでください。

2. ボンベホルダーのガイド(凸部)が所定の位置(左側に止まるまで回した位置)にあることを確認します。

3. 容器(ボンベ)の切り込み部にガイド(凸部)を合わせ、下方に押し付けながら本体を右方向に止まるまで約60度回します。ガイド部(凸部)が、本体の真後ろよりやや右側にある位置が取り付け完了の位置です。



※容器(ボンベ)取り付け時の注意

容器(ボンベ)取り付けの際はガイド(凸部)が、所定の位置(左側に止まるまで回した位置)にあることを確認してください。所定の位置以外にあると容器(ボンベ)の取り付けができません。

※ガス漏れに注意

容器(ボンベ)に取り付け後、容器(ボンベ)のガタつきや「シュー」というガス漏れの音や、ガスの臭気がないか確認してください。

＜2＞点火

1. 容器(ボンベ)を手で固定しながら水平な場所に置き、直立状態にします。

2. 容器(ボンベ)を手で固定しながらハンドルをONの方向にゆっくり回してガスを出し、点火ボタンを「カチッ」というまで押し点火して、青色の炎が出ることを確認します。

※ご使用の際は、必ず容器(ボンベ)を手をもって使用してください。

3. 点火しない場合は、点火ボタンを繰り返し押します。

※ガスを出しすぎると点火しにくいので、ガスの量を調整してください。

※生ガスが出たときは点火せず、一度ハンドルをOFFの方向に回し、再度ハンドルをONの方向に回して生ガスが出ないことを確認してから点火してください。

本製品を安全に正しくお使いいただくために、
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、この取扱説明書を大切に保管してください。

＜3＞プレヒート(予備加熱)

点火後約10秒間は器具を動かさないで、そのまま燃焼させてください。生ガスが出ることを防ぐためです。

※プレヒート(予備加熱)不十分の逆使用は、赤い炎が大きく燃え上がり、やけど、火災の危険があります。

＜4＞火力調整

火力の調整は炎を確認しながらハンドルで調整します。

＜5＞消火

容器(ボンベ)を手で固定しながらハンドルをOFFの方向へ止まるまで回して閉じ、完全に消火したことを確認して作業を終了します。この時ハンドルを必要以上にきつく締めないでください。

※ボンベの取り外し方

容器(ボンベ)を取り付け時と逆の手順で取り外します。

＜6＞本体の保管

① 使用しない場合は必ず本体を容器(ボンベ)から取り外し、ハンドルをOFFの方向へ回して、完全に閉じていることを確認してから各部にゴミや水分・異物がつかない湿気のない場所で箱または袋に入れて保管してください。

※そのまま放置すると虫や、ほこり等がガス通路に入り込み、異常燃焼や点火不良の原因になります。

■点検手入れについて

① 日常の点検、手入れは必ず行ってください。

① 点検、手入れは必ず容器(ボンベ)を取り外し、火口が完全に冷めてから行ってください。

① 故障、変形、破損があるものは絶対に使用しないでください。

ご使用になる前に必ず以下の点検を行ってください。

○点検方法

① バルブ内にオリング(リング状の黒いゴム)が2つ入っているか確認する。

① 点火ボタンを押したとき、火口の中で青い火花が飛びか確認する。

① 本体に汚れが目立つ場合は、乾燥した布等で拭き取ってください。

① 火口内部にゴミや異物、虫が入っていないことを確認してください。



現象 原因	火力が弱い	炎の色が赤い	点火しにくい	ガスが出ない	ガスの臭いがする	炎が吹き切れる	処理方法
ノズルのつまり	○	○		○			点検・修理を依頼する
燃料が残り少ない	○		○				新しい容器(ボンベ)と取り替える
容器(ボンベ)の温度が低い		○	○				容器(ボンベ)を室内に1時間ほど放置する
ガス噴出量が多い							ハンドルをOFFの方向に回しガスの噴出量を少なくする
容器(ボンベ)の温度が高い			○		○		ハンドルをOFFの方向に回しガスの噴出量を少なくする
点火装置の故障		○					点検・修理を依頼する
容器(ボンベ)の取り付け不良				○	○		容器(ボンベ)を取扱説明書とどりに取り付ける
ガス噴出量が少ない			○				ハンドルをONの方向に回しガスの噴出量を増くする

困ったときは

○ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなったら
処置に困るような場合は、お買い求めになった
販売店又は新富士バーナー(株)
お客様係フリーダイヤル
0120-75-5000までご相談ください。

取扱
説明書

ご使用前に
台紙中側の
取扱説明書を必ず
お読みください。